



六桜花



令和3年度 第4号

初島小学校 学校通信

令和3年 5月26日

発行責任者 植村由香

GIGAスクール構想

今後さらに進んでいく情報化社会を生きていくために必要な力を付けることを目標に、1人1台のタブレットと教室に無線ネットワークを整備していただきました。この取組によるタブレットを活用することで、主体的かつ対話的な学習が可能になり、大きな効果を発揮するといわれています。

有効に活用していくために、授業において基本的な操作や管理の仕方、ルール・マナーなどについても学習（現在は3～6年生）しています。今後、ご家庭への持ち帰りも予定しています。ご連絡をさせていただきますので、ご協力いただけますようお願い申し上げます。



夢を叶えるために・・

夢はだれでも抱きます。「目が覚めたら叶ってればいいな。」と、子どもの頃はよく思ったものです。

そこで、始業式で『夢を持ってあきらめずに最後まで頑張りましょう。』という話をし、六桜花第1号でも掲載しました。言うのは簡単です。「でもしんどいし、なかなかできないし・・・」と、子どもたちのつぶやきが聞こえてきそうです。【夢のために目標を立て、日々何をしていくかを考えて実行していく】・・・気が遠くなりそうです。

先日、ラグビーワールドカップで活躍した福岡堅樹選手が試合で優勝し、ラグビー選手を引退しました。引退して医学部で勉強し、将来医者になるという目標は以前から公表していました。

—どんな医師になりたいか—という質問に。

「ケガ、病気を治すだけでなく、その後の人生を考えた治療をしていきたい。医療技術が発展しても、心の部分、診断は人間が担っていくと思う。自分としても（選手経験から）ケガの部分とか共感できる部分はあると思う」

—（医学部）受験や授業とラグビーの両立は大変だったか—

「今までは本当にラグビー中心の生活だったが、スケジュールも大きく変わった。限られた時間をどう使うかを意識した。ケガをしないように。車で移動してすぐ練習という時もあった。試行錯誤して、やりたいことができた」

夢を持ち、目標を立てて毎日の取組を考える。さすがに組み立てはバッチリです。でも、ち密なスケジュール管理までは小学生には難しいし、精神力も大人のようにもちません。

ご家庭でも一度、夢について語り合ってみてください。そして、勉強でも何でも言われるからやるのではなく、どんな意味があるのか、どんなことに役立つのかも一緒に考えてみて下さい。夢と希望がいっぱいの子どもたちの姿は最高に愛おしいものです。必ず、日々保護者の方の全力のサポートがあることも教えてあげてください。また、保護者の方の夢も一緒に語ってあげてください。



地震火災避難訓練・不審者対応訓練

5月24日、地震火災避難訓練を行いました。緊急地震速報を聞いたあと、机の下に身を隠し、おさまるのをまって運動場に避難するという訓練でした。「お・か・し・も・ち」（押さない・かけない・しゃべらない・もどらない・近寄らない）を守るよう事前に指導をしていたので、子どもたちは大変落ち着いた様子で訓練に参加できました。



また、教職員は5月19日の放課後、有田警察署の3人の方に来校して頂き、不審者対応訓練を行いました。不審者が校内に侵入し、刃物を持って暴れるという想定でした。いかに、子どもたちの安全を確保するかについて、訓練を通して教えていただき、確認し合いました。

初小の子どもたち



久しぶりの音楽朝集で校歌合唱

体力テストで5・6年が補助

緊張しながら自己紹介（1年）

笑顔と元気いっぱい（3年）

3密を避けて調理実習（6年）